

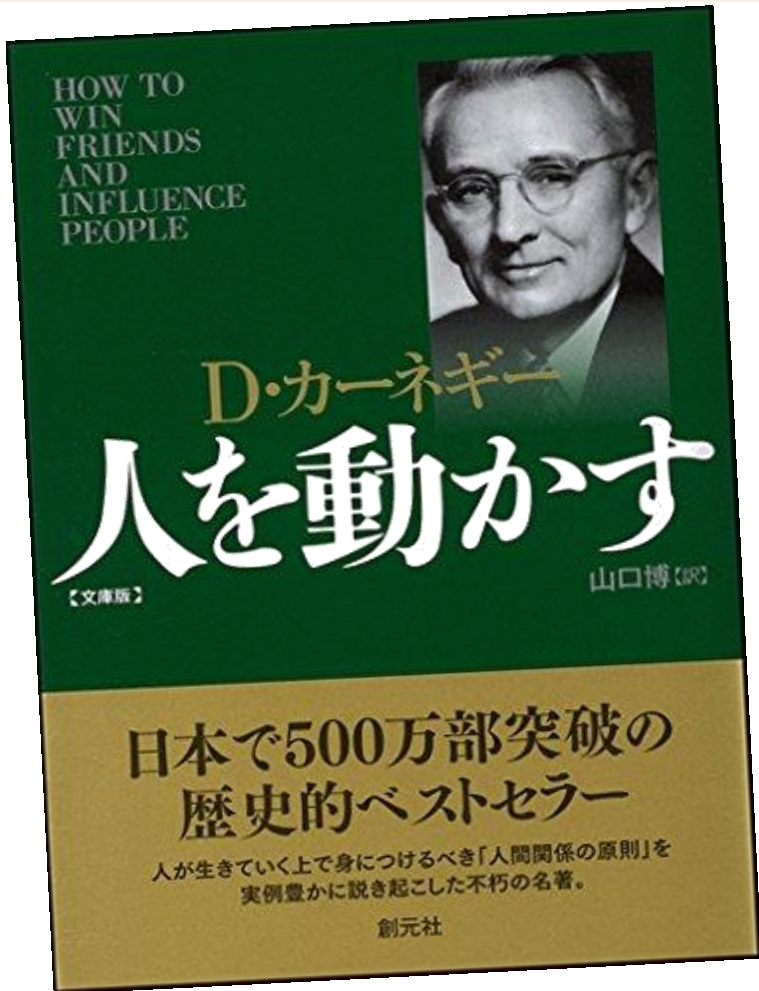
あなたに薦める『この一冊』5月

『人を動かす』

D・カーネギー著 創元社 出版

社会科教諭 野田 芳正

高校 2年13組 担任



★著者『D・カーネギー』豆知識★

1888年、米国ミズーリ州の農家に生まれ、大学卒業後、雑誌記者、俳優、セールスパーソンなど雑多な職業を経て、弁論術や成人教育の講師となり、人間関係の先駆者として名をなす。不朽の名著『人を動かす』『道は開ける』など多数の著作がある。

出典：『人を動かす』創元社 奥付より

私は両親に新聞やニュース、そして読書をするように育てられました。そのおかげで、今の日本や世界で起きていること、そして私が生まれていない時代に起きたことなどを知ることができました。

私は大学卒業後、営業マンとして勤務しました。日々の営業活動の中で、お客様との何気ない会話の中にある共通の話題を引き出すためには、そうやって得た情報が何よりの武器となりました。人は経験したことや、勉強したことしか人に伝えることはできません。また今の日本や世界を築かれた先人たちと直接会話することもなかなかできません。ですが、そういった偉大な先人たちのロジック（論理）は本にたくさん詰まっています。

私が紹介したい『人を動かす』という本は1936年に初版が刊行され、人と接する際の原則や、人が生きていく上で身につけるべき人間関係の原則などがわかりやすく明記されています。

私自身が教員を目指すきっかけとなったのは高校時代の楽しかった毎日です。これを読んでいる生徒のみなさんにも私と同じように卒業をしても、胸を張ってよかったといえる高校生活を歩んでほしいです。そのためには人として必要とされる。人として愛される。そんなことをこの本から学んでほしいと考えています。それでは正門で待っています♪

★野田 芳正（ノダ ヨシマサ）先生の紹介★

- *担当科目・クラス
日本史B 2年10,11,12,13組
- *星座 → 獅子座
- *趣味 → 食べ歩きです。おかげで学生時代から●0キロ以上増加しました…。
- *自分の中学・高校生活
無遅刻・無欠席・無早退で学校が大好きな生徒でした。担任の先生にも顧問の先生にも恵まれ、最高の学園生活でした！
- *本校生の印象
未知なる可能性に満ち溢れている生徒ばかりです。さあ一歩、踏み出してみよう！
- *感動した本
『生き方：人間として一番大切なこと』 稲盛和夫【著】 サンマーク出版
- *読むことが望ましい本
『人を動かす』 デール・カーネギー【著】 創元社

「嘘でない心からの賞讃を与えよう。心から賛成し、惜しみをなく賛辞を与えよう。相手は、それを心の奥深くしまい込んで、終生忘れないだろう。与えた本人が忘れても、受けた相手は、いつまでも忘れないでいくしむだろう」

「自分の欠点ばかりが気になりだしたなら、そんな劣等感を直してくれる人間はこの世に一人しかいない。そう、それはあなた自身だ」

—D・カーネギーの
発言より

図書館所蔵『D・カーネギー』著作紹介

道は開ける 創元社



『人を動かす』と並ぶカーネギーの二大名著。人が生きていく上で誰もが直面する「悩み」の原因を客観的に自己分析し、心の持ちようや習慣を改め、心身の疲れを取り除く等の方法で具体的かつ実践的に解き明かす。苦悩するすべての人を心の闇から救いだし、行動と自己変革への勇気を与え、新しい人生を切り開くための座右の書。

話す力：自分の言葉を引き出す方法 新潮社

「話し方講座」の講師として7000人以上を指導した著者が辿り着いた「話し方」とは。単なるテクニックやコツ、方法論などを論じた多くのスピーチ本や話し方本とは違い、テーマの見つけ方から、アイデアの磨き方、考えのまとめ方、情報収集の仕方、原稿の書き方まで、これからの時代に必要なビジネススキルについての具体的で実践的なアイデアが詰まった一冊です。



デジタル時代の人間関係の原則 創元社

世界的名著、待望の21世紀版。メール、ツイッター、フェイスブック、インターネット——。デジタルメディア全盛の時代に、何をどう伝え、人間関係をどう築くべきか。カーネギーの原則を活かして現代を生き抜くための最新版。



編集後記：農家の次男として生まれたD・カーネギー。学生時代は毎朝4時に起き、牛の乳しぼりの手伝いをしてから、両親が用意してくれたぼろぼろの衣服をまとして大学に通っていました。馬糞のような匂いがしていたとも言われています。彼の家は、あまり裕福とは言えない家庭だったのです。しかし彼は大学でディスカッションの才能を発揮し、やがてはひとかどの人物となりました。彼の著作から勇気を貰った読者は非常に多いですが、彼の生涯もまた、あなたを勇気づけてくれることでしょう。